



人権と平和は
21 世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内 1-1-1
TEL 924-6789 FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市人権平和資料館は、8月30日に開館20周年を迎えました

収蔵庫展 開催

前期：9月13日～10月19日

後期：10月21日～11月30日



出征幟旗



大東亜戦争「特別据置預金證書」



映画「泣きながら笑う日」の松山善三監督と高峰秀子の色紙

人権と平和に関する資料を募集しています！

- 同和問題をはじめとする人権に関わる運動の記録や資料。
 - 戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝える資料。
- 写真・書籍・新聞・雑誌・映像・手紙・絵画
召集令状・聯隊史・戦地からの手紙・遺書・遺品など

ふくやまピース・ナビ養成講座を開催しました！



第1回 7月29日
テーマ 「人権と平和を求めて～母と子の八月八日～」
講師 田辺準一郎さん
●「海軍航空隊」の兵士が出征の際、わが家の上空を旋回して行きました。戦争で失ったものは、命だけでしょうか。小さな子どもが、『どうして戦争をするの』と問いかけます。あなたは何と答えますか。」



第2回 8月5日
テーマ 「福山空襲と戦時下の暮らし」
第3回 8月12日
テーマ 「福山空襲(米軍作戦任務報告書より)」
講師 北村剛志さん
●「外国との緊張感をさんざん煽っておいて、戦争ができる国にしようとしている。平和を守るためには何よりも対話が大事です。」



第4回 8月19日
テーマ 「広島原爆『父子のわかれ』」
講師 廣中正樹さん
●「被爆した父の背中から、5歳の小さな手でガラスの破片を抜こうとしました。もう2度と私のような思いを誰にもさせたくありません。平和な国をつくっていきましょう。」

◆ ふくやまピース・ナビ続報

ふくやまピース・ナビは、55人の方から申し込みをいただき、5回で延べ187人の参加により一旦終了しました。

引き続き、恒久平和を維持していくために、私たちができることを考え、活動する拠点として、気軽に参加できる場をつつていきたいと思います。

はじめての方も、ぜひご参加ください。

**と き 9月9日(火)18時から
1時間程度**

ところ 人権平和資料館 2階

内 容 ①福山空襲体験者のお話
②参加者の意見交換

◆ワークショップ「竹細工」の 参加者募集中!



**と き: 9月28日(日)
10:00~約2時間**

ところ: 人権平和資料館

内 容: トンボ、チョウチョ、スズメ、カニ、
ハト笛のうち、2点を作ります。

参加費 (実費): 200円

電話予約: 924-6789

小学4年生以上先着20人

※ハト笛の羽と頭はつきません▶



◆ 来館者のご意見から

○ 日本の行く末を心配する今日、時代の潮流に流されず、むしろ積極的に平和と人権を守る姿勢に感動しました。原爆と差別について、広島・長崎でさんざん苦勞してきたのに、またしても福島で同じことが起きていると感じます。一人ひとりが自分を、そして他人を尊重することが、今日の日本社会に大切なことだと思います。(40代 県外男性)

◆ 「戦争遺跡巡り」(8月23日)

今年で8回目となる戦争遺跡巡り。午前中は、「親子」コースとして43人の参加がありました。「土橋」「光善寺」などの「焼夷弾」の痕跡を見学した後、中央公園の「母子三人像」の前で、「母と子の八月八日」の紙芝居を鑑賞し、その後、同名の歌を合唱しました。

また午後からの一般コースには55人の参加があり、「海軍航空隊跡」など、普段見学することが難しい遺跡も見ることができました。参加者から、遺跡の保存と戦争体験を語り継ぐことなどのご意見をいただきました。



◀ 中央公園「母子三人像」前

◆ 楽しく撮ろうフォトコンテスト 「デジタルカメラ講座」

受講者募集!

**と き: 10月13日(月・祝)
13:30~約2時間**

ところ: 人権平和資料館 2階

講師: 二科会会員 上野真弓さん

持 参: デジタルカメラ

申込み: 人権平和資料館 (924-6789)

※「2014 ふくやま人権平和フォト
コンテスト」

締め切り: 10月31日(金) 消印有効

**規 格: 四つ切判(ワイド可)。プリン
ト仕上げ(台紙、パネル貼り、
組写真、画像処理は不可)。**

**展 示: 12月3日~12月26日まで
人権平和資料館で全作品を展
示します。**